

## 第 1 回 朝倉運動公園再整備町民検討委員会 議事概要

日時 : 令和 6 年 5 月 3 0 日 (木) 1 4 時 0 0 分 ~ 1 5 時 3 0 分

場所 : 垂井町役場 1 階 垂井ホール

出席委員 (敬称略) : 後藤 誠一、古山 昌人、西川 一明、山田 成利、奈良 平三、  
松浪 敏郎、遠藤 誠、三輪 幸子、角田 寛、浦野 真由美、  
小竹 達也、中川 未凡、佐竹 まみ、太田 佳祐

### 議事の概要 (主な意見)

- (1) 委員長・副委員長の選出について
- (2) 朝倉運動公園の概要について
- (3) 朝倉運動公園再整備の背景、スケジュール等について
- (4) 朝倉運動公園再整備の課題について
- (5) 町民・利用者アンケートについて

### 1. 開会

#### 【町長】

- ・朝倉運動公園再整備町民検討委員会を設立し、それぞれお願いさせていただいた委員の皆様が本日は全員の出席を賜り、御礼を申し上げます。
- ・何十年來、町民の意見を聞くのは、朝倉運動公園では初である。昭和 49 年 3 月に都市計画法による都市計画決定という法の手続きをとり、都市計画事業に関する国の補助金を活用しながら今日までに至っておる。
- ・自由広場をスタートに体育館・体育センター、野球場、町民プールと順次整備をし、平成 19 年から現行の形で今日に至った。
- ・公園の再整備に至る経緯については、町民プールは平成 31 年度には 2,832 人まで利用者が落ち込んだという背景から令和 3 年度に行政改革審議会をもって廃止した。町民プールは、昭和 58 年には年間 27,000 人ほどの利用者がいたが、残念ながら平成 31 年度には 2,832 人まで利用者が落ち込んだ。
- ・町民プールを廃止した経緯として、吸い上げる浄化ポンプが故障し、補修に数千万の費用がかかることから最終的に廃止の判断をした。
- ・町民プールのみならず、他の施設も老朽化しており、現行の朝倉運動公園をどのように再整備していくのか。消滅自治体の発表や少子高齢化の影響がある中で垂井町も人口が減少しており、26,000 人を割り、25,000 人台となったことから、施設の維持管理を含めて、どのような使い方が良いか、是非とも町民の皆様からご意見を拝聴しながら検討し、方向性を決めていきたい。
- ・令和 5 年 12 月に岐阜大学と連携協定を締結した。地域の課題解決に学生さんをはじめとする教授の先生方を始め、いろんなご意見を拝聴したいという背景のもと連携協定を締結した。

- ・令和6年2月にこどもまんなか応援サポーター宣言をし、令和5年からは子育てファーストタウン垂井を目指すといったようなことから、様々な事業を推進している。
- ・直近では3x3のプロバスケットボールチームが設立されるなど、今年は町合併70周年の記念の年であり、是非ともこの朝倉運動公園のあり方について少し変化をもたらしたいという思いである。
- ・皆様の多大なるご意見を拝聴しながら、公園の方向性を皆様と一緒に決定していきたいと考える。何卒、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 2. 委員紹介

## 3. 議題

### (1) 委員長・副委員長の選出について

- ・後藤委員を委員長に、西川委員を副委員長に選出した。

#### 【委員長】

- ・委員長を拝命いたしました岐阜大学の後藤である。
- ・皆様と一緒に公園の在り方を考えていきたいと考えている。
- ・公園を利用されている皆様からこういった使い方が良いのではないかと、あるいはこういう機能が公園にあった方が良いのではないかなど、いろいろな意見があると思うので是非お伺いしながら、今後の在り方を考えていきたいと思う。

#### 【副委員長】

- ・委員長から副委員長を拝命いたしました宮代地区のまちづくり協議会会長の西川である。
- ・朝倉運動公園は宮代地区に位置するが、私は宮代に70数年ずっと住んでおり、小さい頃から朝倉運動公園にはよく行った。今もまちづくり協議会のさまざまな行事で朝倉運動公園を使っている。
- ・昔、朝倉運動公園の自由広場周辺で垂井ピアというのがあった。私は協議会の会長の時に、当時総務課長だった今の町長と一緒に色々やって、懐かしいと思う。
- ・よく見ますとやはり全ての施設が老朽化しており、これから色々な意見を聞きながら今後どうしていくかということを考えていきたい。

### (2) 朝倉運動公園の概要について

### (3) 朝倉運動公園再整備の背景、スケジュール等について

### (4) 朝倉運動公園再整備の課題について

### (5) 町民・利用者アンケートについて

#### ◆質疑応答

#### 【委員】

- ・アンケートの最後に添付している平面図に災害想定区域を入れて、公園内の施設と災害想定区域の位置関係を分かりやすくした方が良い。

**【事務局】**

- ・ A3 の平面図に災害想定区域を入れて分かりやすい資料に修正する。

**【委員】**

- ・ 資料の文字が小さいため、大きくした方が良い。
- ・ サウンディング型市場調査では良い意見が多いが、いずれもどう施設を改良、改善するかにすぎない。これでは施設を改良、改善しても 10 年経ったらまた同じ問題になる恐れがある。
- ・ 町の財政、人口推移を考慮すると年寄りと若者が集える施設にしていく必要があると考える。
- ・ 先週、朝倉運動公園で NPO のイベントがあったが、若者ばかりで年寄りはいなかった。町外の人も多数おり、それも良いが NPO とタイアップして若者と年寄りの両方が集まると良いと思う。商工会など、もっと協力してやっていかないと良くならないと思う。
- ・ 施設の改善はだれが使うかという観点が大事であると考えている。

**【事務局】**

- ・ 若者だけでなく、幅広い世代が活用できるように色々な意見を踏まえて基本構想を策定していきたい。
- ・ 朝倉運動公園の再整備するにあたっては、利用の仕方も考えた上で、イベントを行いやすくするために、電気、水道、ガス等のインフラも整備したいと考えている。

**【委員】**

- ・ 資料にもあるが、民間の力を借りてやっていくことも必要なので考えていってほしい。ネーミングライツみたいなのがあったら良い。

**【事務局】**

- ・ 公園の再整備するにあたっては、官民連携の視点を踏まえ、民間の資金やノウハウを有効活用していきたい。

**【委員】**

- ・ アンケートを見ていると、一般の方に向けたアンケートになっているので、障がい者のためのアンケートものせてもらいたいと思う。トイレなどは車いすの方なども使われるので、バリアフリーみたいなアンケートも取ってもらいたいと思う。

**【事務局】**

- ・ 障がい者の方の施設や機能に対するご不満についても、満足度の設問でトイレや園路を対象としており、そういった部分で伺うことができると考えている。最後の自由意見でも意見を頂ければと思う。

**【委員】**

- ・ 子育て目線での意見だと遊具があると子供を連れていきたいと思う。
- ・ 最近は池田町や大野町の公園は大きくなって、そこに垂井町から行く人も増えている。
- ・ 公園で遊ぶ場合、お昼ご飯をその場で買って食べるか近くの飲食店で食べるため、飲食店がないと遊びに行くメリットがないと思う。
- ・ 飲食店は商圏的に厳しいとの事務局の説明があったが、垂井町は関ヶ原と大垣の通過点であり、

立ち止まる人がいないのが現状であるため、垂井町といえこれっていうものが必要である。

- ・朝倉運動公園の山など自然をいかし、いろんな人が使えるというところをメリットにしてもらって、垂井町に住みたくなるような整備をお願いしたい。

#### 【事務局】

- ・サウンディング調査では子育て目線で休憩施設や授乳施設が少ないという意見があった。
- ・民間からは商圈や収益性の意見があったが、休憩施設がダメという意見ではないため、長い時間を過ごしてもらえそうな公園になると良いと思う。

#### 【委員】

- ・夏場は芝生広場のすべり台はローラーが熱すぎて使えない。
- ・芝生広場は駐車場から遠すぎる。多目的グラウンドの3分の1を駐車場にすると動線も短くなって良いと思う。
- ・芝生広場は前が開けており、新幹線が良く見えるので高台にしてより新幹線が良く見えるようにすると良いと思う。
- ・お金をかけて作った温泉スタンドは宝の持ち腐れみたいになっている。小型の太陽光パネルを設置し、その電力を活用して温泉を温めて足湯として活用してはどうか。
- ・手押しの井戸ポンプは災害時に利用でき、通常時は子供たちにとっては珍しいものになるため設置したら良いと思う。
- ・セミナーハウスも使ったことあるが使い勝手が悪い。急斜面にあり、車いすの方は利用できない。加えて、セミナーハウスは古く、汚い。体育館のトイレも古くて汚い。

#### 【事務局】

- ・頂戴した意見は、とてもワクワクするものだと思う。このような意見をたくさん頂戴し、それを反映した公園にしていきたいと考える。

#### 【委員】

- ・全天候型で遊べるドームみたいなものがあると良いと思う。雨の日でもスポーツやイベントができ、晴れの日も日陰にもなる。
- ・公園の半分ぐらいがイエローゾーンに該当しているが、そのエリアの方針を提示していただきたい。その方針を基に施設の使い方を今後、議論していきたい。
- ・現状は公園内にお店を作っても、利益が出ないが、年に数回大きなイベントを開催し、そこで出た利益で1年間運営するという考え方もあると思う。
- ・以前、朝倉運動公園の野球場で全国の漫画家を集めて野球をするイベントのお手伝いをした。なぜ朝倉運動公園で開催したかという垂井町は日本の真ん中にあり全国的な目線でみると集まりやすい場所にあったからである。全国の人から見て垂井町へのアクセス性が平等な点はこの町の強みであると考えられる。
- ・このあたりのイベントの事例は、中津川ソーラー武道館でのライブや東近江市では春の一大事というアイドルイベントを開催し、2日間で5億円の経済効果があった。このようなイベントを春夏秋冬に1回ずつ開催し利益を得ていくことも挙げられる。

- ・町のなかだけでなく、全国から来た人からお金をとることも必要であり、広い視点で考えてもらえればと思う。

#### 【事務局】

- ・民間事業者とのサウンディング調査においても、屋内での遊戯施設は需要があるという意見があったため、ドームの設置も検討していきたい。
- ・イエローゾーンの方針については、今後提示していきたい。
- ・朝倉運動公園は広いため、運動公園の機能を確保した上で、イベントがしやすい公園作りが必要であるとする。

#### 【委員】

- ・垂井町とは5、6年前から対話させていただいたが、昨年、千葉県から垂井町に移住させていただいた。
- ・サウンディング調査にあったPPPのひとつであるPFIにより付加価値をどう高めていくかが重要である。多くの地方自治体でこのような公設の施設を考える際に、施設の規模や機能について、みんなのアイデアや議論が集中していくケースが多々ある。
- ・先ほどの話があったように2060年の人口が15,000人という人口減少を見据えると、ここ複数年の施策が垂井町の将来を決める岐路になる。
- ・わいわいプラザ垂井も15億、16億を投資した施設であり、今回の開発がどういう成長戦略に位置付けるのか。地域住民のサービス向上は大切な意見であるが、人口減少はすぐには止められないので交流人口、関係人口を増やすことが重要である。
- ・2000年の市町村合併では合併をしない選択をしたが、多くの市町村で合併をしないことを選んだものの住民自らがそのシナリオを考えていなかったのが現状である。施設の方針を考える上で、どういう成長戦略に位置付けて、どうプロデュースしていくのかという議論を平行しながら施設の設備の在り方を検討していくことが重要だと考える。
- ・PPPの官民連携については、民間が利益の観点で進出していくのは厳しい恐れがある。このときにコンソーシアムや指定管理者制度、DBOなどあるが、いずれにしても公共性、公益性の視点を踏まえて、検討していただきたい。
- ・地域住民の意識改革が必要であるとする。これまでは行政サービスがあって当たり前という考え方があるが、自分達の施設は自分達で主体的に守っていくという意識変革の普及も議論していきたい。

#### 【委員長】

- ・施設の個別の方向性だけでなく、どう戦略的に施設の在り方を考えていくのかなど色々な論点があるとする。

#### 【事務局】

- ・町として非常に身の引き締まる思いで拝聴した。頂戴した意見についてしっかり考えていきたい。
- ・遠藤委員より大局的な意見でご意見いただいた。朝倉運動公園は今年で50周年を迎え、この

間は直営で役場職員が維持管理、イベントを展開してきた。これからの人口減少や利用者目線でのサービス向上などの問題を踏まえると直営では限界がきている。そのような観点で今回は朝倉運動公園を再整備することが目的ではなく、その先にあるいかにマネジメント、維持管理、運営できるか、パークマネジメント事業の考えが必要と考えている。

- 最終的には官民連携により事業者が朝倉運動公園を土台として、収益を上げてもらって、その収益をもとにサービスレベルがアップした公園にしたいと考える。
- 民間のアイデアを全て実現できれば素晴らしい公園になると思うが、どこまで費用を出して維持していけるかという問題がある。町民検討委員会の委員の皆様、町民・利用者アンケートのご意見、町議会でのご意見をトータルした上で、垂井町としてどこまで選択と集中ができるのか、このような観点で考えていきたい。この1年間、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 5. 閉会

### 【委員長】

- 細かい質問等があれば事務局に問い合わせすること。
- 次回の委員会ではアンケートの結果を基に皆様の意見を伺う予定である。
- 本日の委員会の意見を総括すると、多様な人がどのように利用できるのか、あるいは垂井町らしさをどう出すのか、移動のしやすさなどの使う面での意見もあり、一方で施設全体をどう戦略的に活用していけるか、それによって町全体がどう発展していくのかなどの幅広い意見を頂いた。
- 今後とも基本構想策定に向けた検討が順調に進みますようご協力をお願い申し上げます。

### 【事務局】

- 本日は、非常に多くの意見をいただきありがとうございました。
- 次回委員会は令和6年8月30日（金）14時から垂井町文化会館小ホールでの開催とする。
- 正式なご案内文書および委員会資料は開催日が近づき次第、郵送にてお送りする。
- 以上をもって本日の第1回委員会を閉会とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

以 上